

キイチゴ「ベビーハンス」の収穫開始時期の目安

～キイチゴ「ベビーハンス」において、9cmポットに挿し木後40日程度の若苗では、前年秋挿し定植で当年夏から、当年春挿し春定植で当年秋から収穫可能～

背景・目的

- 宮崎県において、2013年度よりキイチゴ「ベビーハンス」の栽培が始まりました。
- キイチゴ「ベビーハンス」の定植時期は、春及び秋が一般的ですが、定植時期別の収穫開始時期が示されていません。

成果の内容

- 前年秋挿し秋定植では当年7月、当年春挿し春定植では当年9月時点で出荷規格である40cm以上の枝の長さになります(図1)。
- 当年(定植1年目)の1㎡あたりの収穫本数は、前年秋挿し秋定植では約15本、前年秋挿し春定植では0本、当年春挿し春定植では約4本です(表1)。

表2 各試験区の挿し木時期及び定植日、定植後の生育

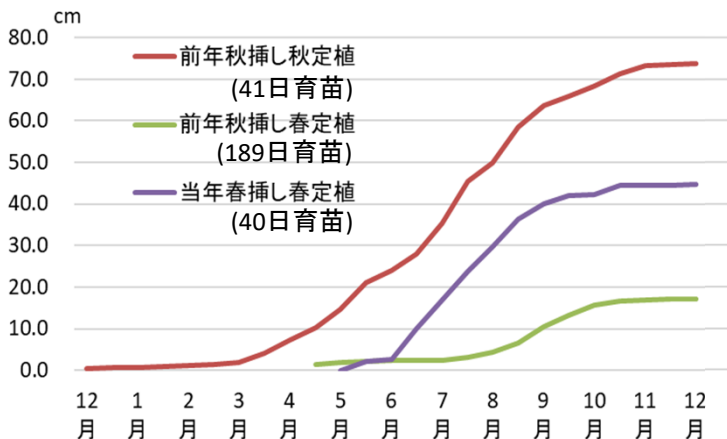


図 前年秋挿し秋定植及び前年秋挿し春定植、当年春挿し春定植の定植から12月までの残し枝の草丈推移(n=3)

試験区	挿し木時期	定植日	定植後の生育
前年秋挿し秋定植	2018年 10月10日	2018年11月20日 (挿し木後41日)	2019年10月 定植338日後
前年秋挿し春定植	2018年 10月10日	2019年4月17日 (挿し木後189日)	2019年10月 定植190日後
当年春挿し春定植	2019年 3月8日	2019年4月17日 (挿し木後40日)	2019年10月 定植190日後

表1 各試験区の1㎡あたりの規格収穫本数(2019年8～10月収穫分)(n=3)

試験区	50cm (本)	60cm (本)	70cm (本)	80cm (本)	合計 (本)
前年秋挿し秋定植	10.3	2.7	2.3	0.0	15.3
前年秋挿し春定植	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
当年春挿し春定植	1.7	1.3	0.7	0.0	3.7

耕種概要
挿し穂 : 無加温ハウス内のポットで育苗した頂芽を含む枝を採取。
長さ10cm、展開葉3枚、挿し木部位はななめにカット。
挿し床規格 : 9cmポット
用土 : MKKセル用10号(N:P:K=0.15:1.5:0.15g/L)
管理 : 無加温ハウスの75%の遮光下。14日後に遮光を外す。
かん水管理 : 毎日じょうろかん水。
植栽密度 : 株間1.5m×条間1.5m(調査面積1㎡)
施肥 : 基肥 N、P₂O₅、K₂O 各5kg/10a、
追肥 N、P₂O₅、K₂O 各3kg/10aを2019年7月、12月に施用。

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 定植時期別の収穫開始時期の目安が分かり、計画的な生産が期待されます。
- 普及対象地域 県内のベビーハンス生産地域

留意点

- 亜熱帯作物支場(日南市)での試験結果です。
- 地域によって気温等の影響により生育が異なる場合があります。
- 定植後の管理は、樹勢維持のために1㎡あたり草勢の強い枝を3本残し、その残し枝3本以外の50cm以上の枝について収穫調査を行いました。

関連研究成果カード：令和元年後期 番号11

関連事業名：露地花き・花木品目の産地づくりを目指した安定生産技術の開発(県単)

研究期間：平成30～31年